

第23回 佐賀県地域年金事業運営調整会議

【開催日】 令和7年7月23日（水）10：00 ～

【場 所】 グランデはがくれ 天山の間（佐賀市天神2丁目）



日本年金機構

Japan Pension Service

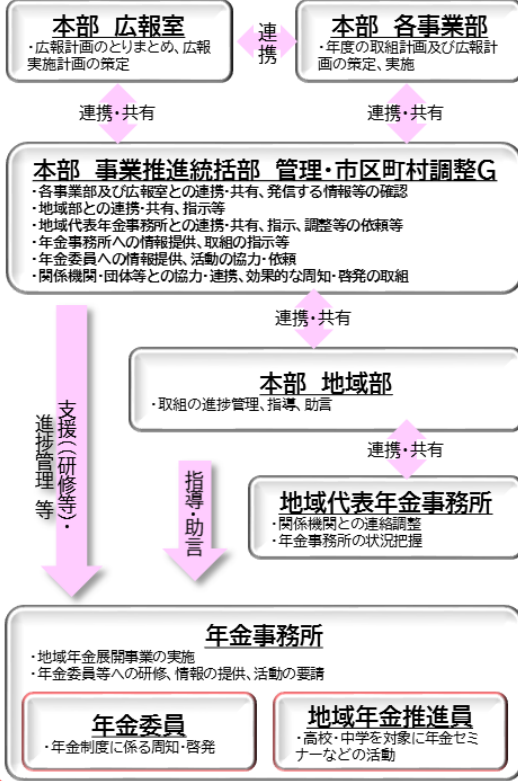
目 次

- 1. 地域年金展開事業の概要 P 1
- 2. 令和6年度事業実施結果報告 P 4
- 3. 令和7年度事業計画 P20

1. 地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の概要

日本年金機構



事業部の取組

- ・未適用事業所に係る取組
- ・適用に係る調査
- ・納付、免除等に係る取組
- ・年金給付にかかる取組 等

地域年金展開事業

～公的年金制度の周知・啓発～

- ①ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ②年金制度説明会
- ③年金セミナー
- ④出張年金相談会
- ⑤地域年金事業運営調整会議
- ⑥「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦「わたしと年金」エッセイ 等

対象

学生
取組：①③⑥⑦

国民年金被保険者
取組：①②③④⑥⑦

厚生年金保険被保険者
取組：①②④⑥⑦

事業主
取組：①②④⑥⑦

年金受給者
取組：①②④⑥⑦

地域のネットワーク/協力・連携する機関

厚生労働省 ⑤

- ・年金局
- ・職業安定局
- ・保険局
- ・社会・援護局
- ・地方厚生(支)局 など

地域 ⑤

- ・地方自治体(市区町村、県庁)
- ・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
- ・地元企業
- ・教育機関(大学・高校・専門学校)
- ・商業施設・商工会 など

関係機関・団体 ⑤

- ・年金受給者協会
- ・社会保険協会
- ・社会保険(年金)委員会
- ・社会保険労務士会
- ・社会福祉協議会
- ・健康保険協会各支部/各健康保険組合 など

地域年金展開事業の主な取り組み

- 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」等を実施します。
- また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を都道府県ごとに開催し、事業推進のための意見や助言をいただきます。

地域連携事業

- 職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に対し、オンラインまたは対面により、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
- 市役所・町役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼等。

年金セミナー事業

- 年金事務所職員が高校、大学、専門学校等に対し、オンラインまたは対面により、生徒・学生向けの年金セミナーを実施。もしくは年金セミナー用動画（DVD）を配付。
- 大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの設置、配布の依頼等。

地域相談事業

- 年金事務所から遠方の地域住民の利便性やニーズに應えるため、市区役所・町役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員活動支援事業

- 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業運営調整会議

- 公的年金制度の普及・啓発などの検討や年金事務所が行う事業への意見・助言をいただくため、学識経験者や関係機関の職員などを委員として都道府県単位で設置。

2. 令和6年度事業実施結果報告

○地域連携事業

計画		実績				総括および課題
市町・官公庁	① 市町や官公庁に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。	① 市町や官公庁に、各種対策に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。				○ 制度周知に関するポスター・リーフレットを市町に送付。また、アニュアルレポートも送付し、事業状況について報告を行った。
	② 市町広報誌等を活用し、年金制度や出張相談に関する周知を行う。	② 市町広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。				
	③ 市町国民年金担当職員への研修、説明会を定期的に実施する。	③ 市町国民年金担当職員への制度説明会を以下のとおり実施した。				○ 国民年金事務について、市町の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。
	実施日	事務所	対象市町	参加者		
	令和6年5月9日	武雄	管内市町担当者	5人(対面)		
	令和6年5月15日	武雄	管内市町担当者	10人(対面)		
	令和6年5月31日	唐津	管内市町担当者	10人(対面)		
	令和6年6月11日	武雄	管内市町担当者	3人(対面)		
	令和6年7月19日	唐津	管内市町担当者	5人(対面)		
	令和6年8月20日	佐賀	管内市町担当者	5人(対面)		
	令和6年8月21日	佐賀	管内市町担当者	5人(対面)		
	令和7年1月17日	唐津	管内市町担当者	4人(対面)		
	令和7年1月24日	唐津	管内市町担当者	6人(対面)		
	令和7年2月18日	佐賀	管内市町担当者	7人(対面)		
	令和7年2月18日	武雄	管内市町担当者	2人(対面)		
	令和7年2月19日	佐賀	管内市町担当者	6人(対面)		
	令和7年2月19日	武雄	管内市町担当者	3人(対面)		

5

計画

実績

総括および課題

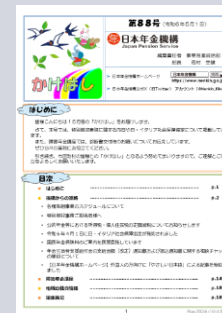
- ④ 市町担当職員向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。

- ⑤ 税務署へ広報チラシの設置を依頼する。
また、確定申告会場での「ねんきんネット」利用勧奨を行う。

- ④ 市町職員向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。
送付時期：令和6年5月、7月、9月、11月、**1月、3月**
(奇数月に発行)

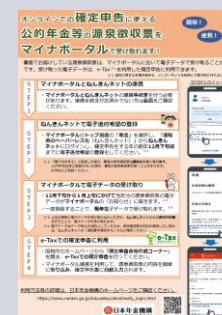
- ⑤ 確定申告時の窓口混雑緩和のため、佐賀県内税務署に「年金受給者の源泉徴収票再発行手続き」および「国民年金保険料控除証明書再発行手続き」に関するチラシの設置依頼を行った。
また、令和6年度は、新たな取組みとして、佐賀税務署および唐津税務署と連携して確定申告会場で、年金事務所職員が「ねんきんネット」の利用促進を行った。

事務所	実施日	会場	登録者
佐賀	令和7年2月から3月 (10日間実施)	メートプラザ佐賀	124
唐津	令和7年2月、3月 (8日間実施)	唐津税務署	42



- 確定申告会場において、「ねんきんネット」への利用登録は、一定程度の効果があった。
さらに利用拡大を図るため、令和7年度においても、税務署と協力連携を図る。

ねんきんネット 登録案内コーナー



計画

実績

総括および課題

- ① 事業所担当者向けの社会保険・労働保険事務説明会（算定基礎届事務説明会）の開催を行う。

- ① 佐賀労働局との連携で開催してきた社会保険・労働保険事務説明会について、令和6年度算定基礎届事務説明会として以下の日程で開催した。また、全国健康保険協会佐賀支部とも連携を図り開催した。

事務所	実施日	会場	参加者
唐津	令和6年6月14日	伊万里市民センター	30人
佐賀	令和6年6月18日	メートプラザ佐賀 午前・午後2回開催	219人
武雄	令和6年6月20日	鹿島市生涯学習センター	30人
唐津	令和6年6月21日	唐津市文化体育館	94人
武雄	令和6年6月25日	武雄市北方公民館	35人
佐賀	令和6年6月27日	鳥栖市民文化会館	41人

- 例年行っている算定基礎届の説明と併せ、届出誤りの多い事例や事業所調査における指摘および指導事項等を含め、事業所担当者の方へ解りやすく説明を行った。また、短時間労働者適用拡大および電子申請の利用促進についても周知を図った。

計画		実績		総括および課題	
全国健康保険協会	① 定期的に連絡調整会議を開催し、情報共有を図る。	① ・ 令和6年5月16日に佐賀県社会保険事業連絡調整会議（幹部会）を開催し、年金委員健康保険委員功労者表彰式をはじめとする令和6年度の事業実施計画を確認した。			○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、全国健康保険協会との相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。
		・ 令和6年5月23日に佐賀県社会保険事業連絡調整会議（実務部会）を開催し、算定基礎届事務説明会および相互研修実施に向け検討を行った。			
		・ 令和7年2月20日に佐賀県社会保険事業連絡調整会議（幹部会）を開催し、令和6年度事業実施状況の総括を行い、令和7年度実施事業計画案について議論を行った。			
	② 全国健康保険協会佐賀支部と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。	② 年金委員・健康保険委員功労者表彰式および研修会を以下のとおり開催した。 【表彰伝達式】			
		事務所	実施日	会場	
		佐賀	令和6年11月21日（木）	アバンセ ホール（佐賀市） 厚生労働大臣表彰 1人 日本年金機構理事表彰 7人	
		【研修会】			
		事務所	実施日	会場	
		唐津	令和6年11月7日(木)	唐津市文化体育館（唐津市）	
		唐津	令和6年11月13日(水)	伊万里市生涯学習センター（伊万里市）	
	武雄	令和6年11月15日(金)	武雄市北方公民館（武雄市）		
	佐賀	令和6年11月21日(木)	アバンセ ホール（佐賀市）		
	佐賀	令和6年11月28日(木)	サンメッセ鳥栖（鳥栖市）		
③ 機構および全国健康保険協会の業務にかかる研修会を実施する。	③ 令和7年3月7日に全国健康保険協会と年金事務所職員相互による実務研修を実施し、互いの制度理解を深めた。			○ 今後も更なる協力連携を進めるため、相互での意見調整を図る。	

計画	実績	総括および課題
社会保険労務士会 ① 定期的に連絡会議を開催するとともに、適宜情報提供を行う。	① ・毎月の打ち合わせで相談予約や電子申請の推進に関する協力依頼を行った。また、社会保険労務士会主催の対面・リモート併用による研修会に講師を派遣し、短時間労働者適用拡大、電子申請移行推進への協力依頼を行った。 ・令和6年9月19日に佐賀県社会保険労務士会・日本年金機構佐賀県内年金事務所連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運営業務委託実施状況の確認や機構の各種事業における協力依頼を行った。 ・令和7年3月6日に佐賀県社会保険労務士会・日本年金機構佐賀県内年金事務所連絡会議を開催し、受託事業所への電子申請移行への取り組み依頼を行った。	○ 被用者保険の適用拡大などの大きな制度改正への対応をはじめ、機構の事業推進には社会保険労務士会との連携が不可欠であることから、さらに協力連携を進めていく。
社会保険協会 ① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。	① 毎月発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険さが」編集会議に出席し、記事提供を行った。 主な掲載記事 ・電子申請の推進 ・算定基礎届・賞与支払届提出の案内 ・「わたしと年金」エッセイ募集 ・オンライン事業所年金情報サービスの利用促進 ・ねんきんネットの利用促進	○ 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。 ○ 事業主を会員とする社会保険協会は、年金制度の周知および啓発において重要な団体であり、更に協力連携を強化しながら事業推進を図っていく。

計画			実績										総括および課題	
企業・団体等	① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。	① 以下のとおり年金制度説明会を開催した。										○ 事業所からの要請による訪問説明会等の依頼が無かったことから、企業や団体のニーズを的確につかみ、年金制度説明会を開催拡大するために積極的な周知広報を行う。		
			① 事業所		② 事業所担当者		③ 官公庁・自治体		④ 関係団体		合 計			
			回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		人数	
		佐賀	0	0	3	260	4	23	1	16	8		299	
		唐津	0	0	2	124	5	45	1	35	8		204	
		武雄	0	0	2	65	5	23	0	0	7		88	
		※①は、事業所からの要請による訪問説明会 ※②は、新規適用事業所説明会、社会保険事務講習会等 ※③は、官公庁・自治体事務担当者説明会、市町への訪問説明会 ※④は、各種関係団体からの要請による訪問説明会												
マスメディア	① 「ねんきん月間」や「年金の日」等について、マスメディアを活用した広報を行う。	① 以下のとおり実施した。 佐賀県政記者クラブに対し、以下のとおりプレスリリースを行った。 ・令和6年 6月7日 令和6年度「わたしと年金」エッセイ募集 ・令和6年11月1日 ねんきん月間および年金の日のお知らせ 「FMからつ」で毎月第2水曜日に年金制度説明を行い、放送していただいた。（唐津年金事務所） ケーブルテレビ「ケーブルワン」で複数回にわたり年金制度説明を行い、放送していただいた。（武雄年金事務所）										○ マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にあるため、今後も他の地域の取り組みも参考にしながら、有効な方策を検討する。		

○年金セミナー事業

計画		実績		総括および課題																																																				
開催に向けたアプローチ・開催状況	① 年金セミナーの実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。	① 教育機関等へのアプローチ ・6月に県代表事務所である佐賀年金事務所より「わたしと年金」エッセイおよび年金セミナー開催にかかる協力依頼を行った。 佐賀県教育委員会、佐賀県教育庁学校教育課、県内各市町教育委員会、県内高等学校（42校）、県内中学校（98校）、県内大学・短大（5校）、県内各種学校・専修学校（24校）			 ○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーに対応できるスキルアップを図る。																																																			
	② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。	② オンラインや動画（DVD）を活用したセミナーの開催など、新たな形態を積極的に取り入れているが、12月末段階では学校側の希望により対面開催が多くなっている。 これまでの開催実績は以下のとおり。 令和6年度年金セミナー開催校 <table><tr><th>実施日</th><th>事務所</th><th>対象校</th><th>形式</th><th>人数</th></tr><tr><td>令和6年4月12日</td><td>佐賀</td><td>佐賀県医療センター好生館看護学院</td><td>対面</td><td>41</td></tr><tr><td>令和6年5月10日</td><td>武雄</td><td>鹿島高校赤門学舎、大手門学舎</td><td>対面</td><td>191</td></tr><tr><td>令和6年5月25日</td><td>佐賀</td><td>放送大学佐賀学習センター</td><td>対面</td><td>16</td></tr><tr><td>令和6年7月5日</td><td>佐賀</td><td>弘堂国際学園（外国人向け）</td><td>対面</td><td>125</td></tr><tr><td>令和6年9月13日</td><td>武雄</td><td>鹿島看護学校</td><td>対面</td><td>5</td></tr><tr><td>令和6年11月7日</td><td>佐賀</td><td>佐賀大学</td><td>対面</td><td>46</td></tr><tr><td>令和6年11月7日</td><td>武雄</td><td>嬉野医療センター附属看護学校</td><td>対面</td><td>45</td></tr><tr><td>令和6年11月14日</td><td>佐賀</td><td>佐賀女子短期大学</td><td>対面</td><td>142</td></tr><tr><td>令和6年12月6日</td><td>武雄</td><td>佐賀農業高校</td><td>対面</td><td>120</td></tr></table>					実施日	事務所	対象校	形式	人数	令和6年4月12日	佐賀	佐賀県医療センター好生館看護学院	対面	41	令和6年5月10日	武雄	鹿島高校赤門学舎、大手門学舎	対面	191	令和6年5月25日	佐賀	放送大学佐賀学習センター	対面	16	令和6年7月5日	佐賀	弘堂国際学園（外国人向け）	対面	125	令和6年9月13日	武雄	鹿島看護学校	対面	5	令和6年11月7日	佐賀	佐賀大学	対面	46	令和6年11月7日	武雄	嬉野医療センター附属看護学校	対面	45	令和6年11月14日	佐賀	佐賀女子短期大学	対面	142	令和6年12月6日	武雄	佐賀農業高校	対面	120
	実施日	事務所	対象校	形式			人数																																																	
	令和6年4月12日	佐賀	佐賀県医療センター好生館看護学院	対面			41																																																	
	令和6年5月10日	武雄	鹿島高校赤門学舎、大手門学舎	対面			191																																																	
	令和6年5月25日	佐賀	放送大学佐賀学習センター	対面			16																																																	
	令和6年7月5日	佐賀	弘堂国際学園（外国人向け）	対面			125																																																	
	令和6年9月13日	武雄	鹿島看護学校	対面			5																																																	
	令和6年11月7日	佐賀	佐賀大学	対面			46																																																	
	令和6年11月7日	武雄	嬉野医療センター附属看護学校	対面			45																																																	
令和6年11月14日	佐賀	佐賀女子短期大学	対面	142																																																				
令和6年12月6日	武雄	佐賀農業高校	対面	120																																																				

○年金セミナー事業

計画		実績					総括および課題
開催に向けたアプローチ・開催状況		令和6年度年金セミナー開催校					
		実施日	事務所	対象校	形式	人数	
		令和7年1月15日	佐賀	佐賀県医療センター好生館看護学院	対面	52	
		令和7年1月27日	佐賀	佐賀市医師会立看護専門学校	対面	34	
		令和7年1月28日	佐賀	佐賀市医師会立看護専門学校	対面	34	
		令和7年1月29日	唐津	早稲田佐賀高校	対面	135	
		令和7年1月29日	武雄	嬉野高校嬉野校舎	対面	49	
		令和7年2月3日	武雄	太良高校	対面	54	
		令和7年2月5日	佐賀	佐賀工業高校	対面	140	
		令和7年2月6日	佐賀	佐賀商業高校	対面	5	
		令和7年2月6日	唐津	厳木高校	対面	69	
		令和7年2月10日	佐賀	多久高校	対面	108	
		令和7年2月10日	唐津	唐津南高校	対面	105	
		令和7年2月10日	武雄	白石高校商業科	対面	54	
		令和7年2月17日	唐津	伊万里看護学校	対面	26	
		令和7年2月25日	唐津	唐津看護学校	対面	28	
		令和7年2月27日	武雄	鹿島看護学校	対面	6	
			24校			1,630	

○年金セミナー事業

計画		実績					総括および課題
開催に向けたアプローチ・開催状況	③ 特別支援学校に対し、障害年金制度にかかる制度説明会のアプローチを積極的に行う。	令和6年度年金セミナー開催校					○ 教職員や保護者のニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーに対応できるスキルアップを図る。
		実施日	事務所	対象校	形式	人数	
		令和6年8月5日	佐賀	佐賀県自立支援センター	対面	45	
		令和6年8月28日	佐賀	大和特別支援学校	対面	15	
		令和6年11月7日	武雄	うれしの特別支援学校	対面	30	
		令和6年11月15日	唐津	伊万里特別支援学校	対面	35	
		令和7年1月8日	唐津	唐津特別支援学校	対面	15	
		令和7年2月28日	佐賀	大和特別支援学校	対面	20	
			6校			160	

○地域相談事業

計画		実績				総括および課題
自治体（市町）	① 予約相談の周知・拡充 ② 遠隔地の市町に赴き、年金にかかる相談・受付窓口を開設	① チラシの配付・設置依頼 市町の班回覧または戸別配付、ＪＡ・公民館へのポスター掲示依頼を行い、予約相談の周知・拡充を図った。				○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町や関係機関と連携しながら実施していく。
		② 各出張所における実施結果は以下のとおり。（令和6年4月～令和7年3月）				
		出張相談所	開設日・相談時間	回数	相談者数	
		多久市役所	第1，3水曜日	23回	120人	
		基山町役場	第2，4火曜日	22回	69人	
		伊万里市役所	毎週金曜日 第1月曜日	59回	555人	
		鹿島市役所	第1，3火曜日	24回	192人	
		有田町役場	第2水曜日	12回	42人	
		合計		140回	978人	
労働局関係機関	① ハローワークと協力し、離職者に対する免除申請等の相談窓口を開設する。	① 県内のハローワークにおいて、定期的に求職者や失業者に対する年金制度説明会を開催しており、失業された国民年金加入対象者からの免除申請書の受理拡大につながっている。				○ 離職者の免除申請書の獲得を効率的に行えることから、ハローワークの協力を得ながら引き続き取り組みんでいく。

○年金委員活動支援事業

計画		実績				総括および課題
年金委員研修会	① 年金委員研修会の実施	① 令和6年度実務研修会の実施状況				○ 職域型年金委員研修については、各年金事務所からの案内文書、研修内容を統一化し、県内どの研修会場でも研修を受講可能とした。また、地域型年金委員研修については、県内一か所で研修会を実施した。 ○ 年金委員は地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」であることから、研修会や情報提供を通じてしっかりと活動をサポートしていく。
		種別	実施日	会 場	出席者数 (※1)	
		唐津 (職域型)	令和6年11月7日	唐津市文化体育館	66人	
		唐津 (職域型)	令和6年11月13日	伊万里市生涯学習センター	61人	
		武雄 (職域型)	令和6年11月15日	武雄市北方公民館	67人	
		佐賀 (地域型)	令和6年11月19日	アバンセ 第2研修室	13人	
		佐賀 (職域型)	令和6年11月21日	アバンセ ホール	140人	
		佐賀 (職域型)	令和6年11月28日	サンメッセ鳥栖 大会議室	57人	
		合 計	(延べ人数)		404人	
	※1 健康保険委員のみ委嘱者含む					

計画		実績	総括および課題												
年金委員への情報提供	② 積極的な情報提供	②【職域型】各種啓発資料の送付 【地域型】各種啓発資料の送付 ・情報誌「なごみ・便り」とその時折の制度改正等のパンフレット等を偶数月に発送した。 ・「アニュアルレポート2023」発送「年金委員〔地域型〕活動の手引き」を同封。	○ 職域型および地域型の啓発資料の送付、地域型年金委員に対しては、九州地域版情報誌「なごみ・便り」を隔月で発送した。 ○ 職域型、地域型年金委員それぞれの活動に合ったタイムリーな情報提供を行う。												
	③ 委嘱数拡大に向けた取り組み	③ 勧奨実施状況 <table><tr><th>実施月</th><th>年金委員</th><th>勧奨内容</th></tr><tr><td>通年</td><td>職域型</td><td>年金委員辞退届提出時に事業主に後任者の推薦の協力要請 随時、文書により年金委員の委嘱勧奨</td></tr><tr><td>11月</td><td>職域型</td><td>年金委員・健康保険委員合同研修会開催の際、健康保険委員のみの委嘱者へ年金委員への委嘱勧奨</td></tr><tr><td>通年</td><td>地域型</td><td>職域型年金委員の解嘱届提出時の地域型年金委員委嘱への協力要請 各種イベント開催時に年金委員への委嘱勧奨</td></tr></table>		実施月	年金委員	勧奨内容	通年	職域型	年金委員辞退届提出時に事業主に後任者の推薦の協力要請 随時、文書により年金委員の委嘱勧奨	11月	職域型	年金委員・健康保険委員合同研修会開催の際、健康保険委員のみの委嘱者へ年金委員への委嘱勧奨	通年	地域型	職域型年金委員の解嘱届提出時の地域型年金委員委嘱への協力要請 各種イベント開催時に年金委員への委嘱勧奨
	実施月	年金委員		勧奨内容											
	通年	職域型		年金委員辞退届提出時に事業主に後任者の推薦の協力要請 随時、文書により年金委員の委嘱勧奨											
	11月	職域型		年金委員・健康保険委員合同研修会開催の際、健康保険委員のみの委嘱者へ年金委員への委嘱勧奨											
通年	地域型	職域型年金委員の解嘱届提出時の地域型年金委員委嘱への協力要請 各種イベント開催時に年金委員への委嘱勧奨													
④ 「地域型年金委員連絡会」および「地区連絡会」の開催。	④ これまで組織的な活動支援ができていなかったため、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」および年金事務所単位の「地区連絡会」は各年金事務所で選出した地域型年金委員地区代表者に意見を伺いながら進めてきたが、昨年度から各年金事務所でも委嘱している地域型年金委員の参加を求め「地区連絡会」を開催した。 また、地域型年金委員連絡会の開催については、四半期に1回開催から昨年度から年2回以上と変更されたため、研修会も活用しながら開催した。 【地域型年金委員連絡会】令和6年9月18日、令和6年11月19日														

計画		実績				総括および課題
年金委員の推移		【職域型年金委員数の推移】（令和4年度～令和6年度）				○ 各年金事務所において、新規委嘱の拡大を図るため、事業主への推薦勧奨を実施している。 ○ 年金委員の設置の目的や期待される役割などについて積極的に広報し、新たな年金委員の委嘱拡大を図る。 ○ 地域型の年金委員の方については、3年間の任期満了を迎え、高齢を理由に委員継続を辞退されるケースが見受けられる。今後、関係機関に積極的にアプローチを行い、委嘱拡大を図る。
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		佐賀	682人	696人	715人	
		唐津	514人	508人	508人	
		武雄	375人	368人	366人	
		合計	1,571人	1,572人	1,589人	
		【地域型年金委員の推移】（令和4年度～令和6年度）				
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		佐賀県	78人	85人	84人	

○「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

「ねんきん月間」：日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、国民の皆さまに年金制度に対する理解を深めていただくため、全国各地で公的年金制度の普及・啓発活動を展開している。

「年金の日」：国民一人一人に、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定している。

計画	実績	総括および課題
各年金事務所の取り組み ① 学生向け年金セミナー実施 ② マスメディアを活用した年金制度説明を実施 ③ 園児によるぬりえ展の開催 ④ ねんきん月間ポスター掲示依頼 ⑤ 「知っておきたい年金と健保のはなし」ポスター展の開催 ⑥ 「年金の日」（11月30日）の取り組み	① ・令和6年11月7日（木）佐賀大学 ・令和6年11月7日（木）嬉野医療センター附属看護学校 ・令和6年11月14日（木）佐賀女子短期大学 ② ・令和6年11月6日（水）FMからつに出演し年金制度説明を行った。 ・令和6年11月25日（月）ケーブルワンでねんきんネットの周知およびパーパーレス化勧奨を行った。 ③ ・令和6年11月25日（月）～11月30日（土） 武雄年金事務所内において、小鳩の家保育園（武雄市武雄町）園児によるぬりえ展と公的年金に関するポスター展を開催した。 ④ ・県内の市役所、町役場、公的機関にポスター掲示を依頼し、掲示していただいた。 ⑤ ・令和6年11月12日（火）～11月22日（金） アバンセ（佐賀市）展示室において、全国健康保険協会と共催で「わたしと年金」エッセイ集やねんきんネット関係・健康づくり等に関するポスター展を開催した。 ⑥ 各年金事務所において、窓口での年金相談の実施や「ねんきんネット」利用・登録者数拡大を目指し、専用ブースにて登録案内コーナーを設置し勧奨を行った。	○ 佐賀大学の年金セミナーは、九州厚生局と共同で対応した。 ○ ラジオやケーブルテレビの番組で主に国民年金の免除制度やねんきんネットに関することを広報した。 マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にあるため、今後も他の取り組みと連動しながら、発信力を高める必要がある。 ○ 新たな依頼先の拡大を図り、広くねんきん月間を周知できるよう努める。 ○ お客様の利便性向上のため、継続的な取り組みが必要である。

○地域年金事業運営調整会議

計画	実績	総括および課題
地域年金事業運営調整会議 ① 第21回佐賀県地域年金事業運営調整会議の実施 ② 第22回佐賀県地域年金事業運営調整会議の実施	① 令和6年8月7日（水）第21回の標記会議については、年金セミナー、年金制度説明会および「ねんきん月間」、「年金の日」の取り組みについて、報告を行うとともに、更なる実施拡大および広報活動について、運営調整会議各委員のご協力を要請した。 また、地域年金展開事業の活動活性化について、各委員からご意見を頂戴し、今後の事業へ反映させることとした。 ② 令和7年2月20日（木）第22回の標記会議については、年金セミナー、年金制度説明会および「ねんきん月間」、「年金の日」の取り組みにかかる中間報告に併せて、佐賀県内における国民年金、厚生年金保険の状況およびこれまでの取り組みによる成果等の説明を行うとともに、更なる実施拡大および広報活動について、運営調整会議各委員のご協力を要請した。 また、地域年金展開事業の活動活性化について、各委員からご意見を頂戴し、今後の事業へ反映させることとした。	○ 運営調整会議各委員への相談を行いながら事業実績向上に繋げるため、今後も対面開催を基本として開催していく。

3. 令和7年度事業計画

令和7年度 重点取り組み事項

「無年金者、低年金者の発生を防止し、公平性を維持し、正確に給付する」ことが、当機構に与えられたミッションです。

年金制度に対する正しい知識と理解を深め、制度加入や保険料納付に結び付けるため、地域、企業、教育等の様々な場において、年金制度の普及・啓発活動を行う「地域年金展開事業」を推進します。

令和7年度については、これまでの普及・啓発活動に加え、基幹業務の推進につながる施策にも取り組むこととし、次頁以降に記載している6本の柱を中心に取り組みますが、特に以下の点について「重点取り組み事項」として位置づけます。

【令和7年度重点取り組み事項】

1. 基幹業務推進活動の重点取り組み方針

- ①オンラインサービスおよび外国人への適用・収納対策の推進
- ②関係機関・関係団体等との協力連携の推進
- ③年金委員活動の活性化

2. 「普及・啓発活動」の重点取り組み方針

- ①ねんきん月間、年金の日を中心とした「こども絵画展」等の全国展開
- ②関係機関・関係団体等の協力連携

(1) 地域連携事業

市町、自治会、事業所、関係機関等と協力連携し、公的年金制度の周知・広報の充実および国民年金保険料の納付率向上を図る。

1. 関係機関・関係団体との連携による周知・啓発
 - ・市町、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
 - ・関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
2. 市町広報誌等による周知・啓発
 - ・市町広報紙等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
 - ・社会保険協会発行の広報誌に事務手続きに関する記事等を掲載する。
3. 年金制度説明会の開催
 - ・地域住民および企業や団体の従業員を対象とした年金制度説明会を積極的に開催する。
4. 関係機関・関係団体との連携強化
 - ・市町担当者への研修や事務打ち合わせ会を定期的に行う。
 - ・市町担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。
 - ・関係機関のニーズを十分聞き取り、効果的な情報提供・制度説明会を実施する。

(2) 年金セミナー事業

中学生や高校生、大学生等の若い世代を対象に、公的年金の大切さを知り、制度への理解を深めていただくため、多様な年金セミナーを積極的に実施するとともに、効果的なアプローチを検討・実施する。

1. 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- ・教育関係機関に対し、中学校や高校での年金セミナー開催に向けた協力依頼を行う。
- ・中学校、高校、大学、専門学校等に対し、リーフレットやセミナー動画（DVD）の送付、金融教育での年金セミナーの活用を検討も含め、電話勧奨等のアプローチを積極的に行う。

2. 年金セミナーの開催および充実化

- ・対面によるセミナーのほか、セミナー動画（DVD）の視聴など、各学校のニーズや環境に応じた多様なセミナーを開催する。
- ・実施後のアンケートや先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や教材の見直しを図る。
- ・セミナー講師育成のため、機構職員に対する研修やコンテストを充実させる。

3. 地域年金推進員の活用

- ・地域年金推進員が高校、大学、専門学校等を訪問し、リーフレットを活用した説明および年金セミナー開催のアプローチを行う。
- ・地域年金推進員に対する研修や連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

(3) 地域相談事業

地域住民のニーズに応えるとともに年金制度への理解を深めていただくため、自治体や教育機関等に出向き、出張年金相談や制度説明会を実施する。

1. 市町等における出張年金相談の実施
 - ・年金事務所から遠隔地の市町に赴き、定期的に出張年金相談を開催する。
2. 社会福祉施設における障害年金制度説明会の開催
 - ・特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会開催のアプローチを積極的に行う。
 - ・特別支援学校等の教職員や保護者に対し、制度説明を実施する。
3. ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた制度説明会や国民年金保険料免除申請にかかる相談会等の開催
4. 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施
5. 企業や団体の従業員等に対する年金制度説明会の開催
 - ・企業や団体等に対する制度説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について、広く周知・広報する。
 - ・主催者の希望に応じて、対面・動画（DVD）等、多様な開催方式で対応する。

（４）年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員は、地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」である。

年金制度に関する研修会や情報提供を充実させることにより、年金委員活動の活性化とサポート体制の強化を図るとともに、年金委員の意義・やりがいをしっかりアピールし、委嘱拡大に取り組む。

1. 定期的な研修会・意見交換会の開催

- ・厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会・意見交換会を開催する。
- ・地域型年金委員連絡会を活用し、地域型年金委員の組織的活動の活性化を図る。

2. 積極的な情報提供および制度周知への協力依頼

- ・「年金委員活動の手引き」や情報誌「なごみ便り」を送付し活動を支援する。
- ・各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- ・地域型年金委員および職域型年金委員を活用し、地域住民および企業の従業員への制度周知や情報提供を行う。

3. 委嘱数拡大に向けた取り組み

- ・職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付する。
- ・定年退職等による職域型年金委員の辞退者については、後任の推薦依頼を確実に行う。
- ・地域型年金委員については、推薦母体となる関係団体に年金制度の周知広報の重要性を理解していただいたうえで、積極的に推薦依頼を行う。

(5) 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動を積極的に実施する。

1. 年金委員功労者表彰式の開催
2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施
 - ・年金事務所において「こども絵画展（仮）」を実施する。
3. 「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・教育機関や関係団体に対し広報およびアプローチを積極的に行い、応募数の増加を図るとともに、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈する。

(6) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育機関、企業の中での年金制度の周知・理解・支援のネットワークの強化ならびに地域年金展開事業の推進を図るため、地域年金事業運営調整会議を開催する。

1. 開催時期（目安）
 - ・従前は年度内2回開催としていたが、運営調整会議の目的の一つであった国民年金保険料の納付率向上について、最終納付率80%を達成し目的を一定程度果たしたため、対面による会議を年度内1回とし、中間報告を書面にて行うこととする。（令和7年7月、令和8年2月頃）
2. 主な議事
 - ・事業計画、事業実施結果の報告、事業における重点施策 など